

ご存じですか！文化財

58

「勝軍地藏石仏」

市指定有形民俗文化財 昭和61年12月8日指定



問合せ
生涯学習課
(☎0480・62・1223)



所在地 北平野366-1

勝軍地藏石仏は、北平野の稲荷神社本殿裏に、八幡・天神社とともに並列に安置されています。勝軍地藏は、地藏菩薩の異形で鎌倉後期に起こった地藏信仰の一形態です。その名称から戦勝をもたらす地藏として、中世武士の信仰を得、中でも足利尊氏はその熱烈な信奉者でした。他方、火伏せの神として庶民の信仰を集めました。これは、愛宕信仰との結びつきに由来します。

京都の嵯峨の愛宕神社は、古来愛宕権現と称し、本宮には本地仏・勝軍地藏、奥の院には天狗の太郎坊が祀られています。

ます。ご神体は、イザナミ・火の神カグツチなどで、もつぱら火伏せの神として尊崇されています。こうして愛宕信仰と地藏信仰は習合し、全国に広まってきました。

本市の勝軍地藏は、舟形光背をおい、甲冑を着け、右手に錫杖、左手に宝珠を持ち、馬上姿、面貌は童形、表情は慈悲深く刻まれています。

銘文には、「享保11年6月、奉造立愛宕山尊像」と刻まれ、講元3人の氏名が記されています。この石仏は加須市内では珍しく、愛宕信仰を知る上で貴重な資料です。



紹介者 小沼 良市さん(旗井)